

国際ロータリー第2790地区 東金ロータリークラブ会報 2006年平成18年9月19日 第48巻 第11号 通巻第2299号		創立 1959年(昭和34年)9月15日 RI承認 1959年(昭和34年)10月17日 例会日 火曜日 12:30~13:30 例会場 東金商工会館 4階
2006-07年度 国際ロータリーのテーマ 		RI会長 ウィリアム・ビル・ホイド ガバナー 白鳥 政孝 ガバナー補佐 菅井 直秀 会長 秋葉 芳秀 幹事 長尾 邦俊 クラブ広報委員長 山本 忠司

第2299回例会 9月19日 12:30点鐘 例会場

今週の合唱 = 手に手つないで

会長挨拶 幹事報告 ニコニコBOXの発表 委員会報告

卓話 小林善喜会員 出席報告 閉会宣言

***** 前回の記録 (9月12日) 創立記念例会 *****

会長挨拶 秋葉芳秀会長

皆様、今晩は。

本日は、かくも大勢の会員やご家族並びにお客様にご参加いただき、誠に有り難うございます。本年度47周年目になる東金RCの来し方を思い、そして行く末を見つめたとき、感無量のものがございます。

この世にRCを作り出したボール・ハリスは、今から138年前の米国生まれですが、先祖はスコットランドからの移民で、何と父親は3回も破産を経験したそうです。厳しい状況下で育った彼は正義感が強く、また喧嘩早い子で、粗野だがリーダーの才能もあり、自由奔放に青春時代を過ごしたようです。

学業は優秀で23歳で弁護士試験に合格しましたが、その後の5年間は悪行を重ねてしまったと言っております。すなわち果樹園労働者、新聞記者、塾の講師、舞台俳優、大理石のセールスマン、船乗りや水夫、缶詰工場労働者、農夫、住宅のセールスマンなど、昨今の日本の若者などは足下にも及ばぬフットワークです。

そして28歳の時、念願の弁護士事務所を開業し、9年後の1905年2月23日、シカゴRCを設立しております。創立後60年程で世界中に広まりますが、その秘密・秘訣は一つに、RCが鼓吹している社会奉仕の理念が、洋の東西を問わず世界中の人々に受け入れられたからでしょう。ロータリアン

すべてが、その個人生活、事業生活、及び社会生活

に奉仕の理想を適用せよとの宣言が、支持され期待されたのです。

そして、東金RCはシカゴRCの創立後約50年、ボール・ハリスの死亡後約10年の、1959年(昭和34年)9月15日に、茂原RCをスポンサークラブとしてスタートしました。初代会長に能勢剛氏、幹事に川口敏郎氏が就

任されました。

皇室では、秋篠宮家に41年ぶりの男子が誕生し、皇室典範改正案は棚上げ状態ですが、日本では昔から、普通の家庭でも「女は嫁に行き、男が跡を継ぐ」という考え方が一般的ですので、これを見直すことには強烈な反対がでております。

第一生命経済研究所では経済効果1500億円と試算しており、レストランのメニュー、おもちゃ、衣料品、食品、本、結婚式場などの業界は、千載一遇のチャンスです。

皇族が1人増えたことにより、年305万円の皇族費が国庫からの支出され、20年間で6,100万円の金額になります。しかし経済効果1,500億円とすると、国庫には1年程度で消費税という形で75億円入る勘定になります。

国民が大騒ぎをし、喜び楽しんでお金を使うことが、即、国家や地域の貢献になります。

限られた時間ですが、大いに楽しんで下さい。



来賓ご挨拶 東金ビューRC会長 中村忠雄様
記念ゴルフ大会結果報告 神定一雄 会員

会員増強委員会 2名の方の紹介

スピーチ 米山奨学生 クオン ミチ様

今日は韓国ドラマ「ジャングム(チャングム)」から朝鮮時代に關するお話をします。その前に私が着ている韓国伝統衣装について簡単に説明させていただきます。



日本ではチマチョゴリと言う名称で知られていますが、正式名はハンボクです。「ハン」は韓国、「ボク」は服を表します。皆さんがご存知のチマチョゴリは単に「スカート」を示す「チマ」と「ジャケット」を示す「チョゴリ」の合成語です。

私は帽子をかぶっていてよく見えませんが、女性は髪の方で未婚と既婚を区別することができます。未婚女性は髪を編みこんで、ヘアゴムでその端を隠す。既婚女性は髪をアップにしてかんざしやカツラを飾りました。

「ジャングム」をご覧になるとわかりますが、そのかんざしとカツラの大きさや派手さで身分のレベルが測定できました。それで、あの時代に威張るのが好きな「ヤンパン(貴族)」の奥様達は他人に自分の権力と地位を誇示するため、より大きいカツラとかんざしで自分達の髪を飾りつけていたのです。そのうち、首が重さに耐えきれず負傷する人々が多くなり、王様が一時そのカツラの着用を禁止しました。

女性がおめかしする心理は時代を問わず変わりありません。男性の皆さんくれぐれもお承知おき、お願い致します。

それでは「ジャングム」。苗字が「ソ」、名前が「ジャングム」。朝鮮時代の医女、ジャングムは実際に存在した人物のようです。ここで医女というのは朝鮮時代、(医師といえは男性であり、そのため女性は病気にいかかって診察を受けることなく、亡くなっていました。夫以外の男性に体をみられる、ということが道徳的に受け入れられなかったのです。これを問題視した太宗は1406年夫人の疾病の診療にあたるべく、公婢の少女十数名の教育を命じました。これが医女制度の始まりです。易しくて簡単な医術を教えてお使いをやらせた女性を表します。

朝鮮時代の王様に対する記録を伝えている歴史本の「朝鮮王朝実録」によると、第11代王である中宗の寵愛を受けた賤民出身の医女として記録されており、優秀な医女だったことが推測できます。

ジャングムの物語が朝鮮時代の歴史の本に載り、

ドラマにまでなったのは次のようです。

朝鮮時代の身分制度は王、ヤンパン(貴族)チュンイン(中人)、ヤンイン(常人)、賤民と身分に分けられ、それによる厳しい制限がありました。

まず、ヤンパンは朝鮮時代の支配階層でさまざまな貴族的特権を享受しました。

チュンインはヤンパン達を手伝って役所で働きましたが、ヤンパンのようにレベルの高い官職には就くことができませんでした。一言でヤンパンとヤンインの中間階級だといえます。

民のうち、最も多いヤンインは被支配階層でした。農業、産業、手工業に従事し、教育を受ける機会がめったになくて科挙という国家試験を通じて役人になることすらできませんでした。それに国に税金を払い、軍隊にゆかなければならない義務もありました。

最後に、朝鮮時代最も低い階級の賤民は一般的に召使を示しました。母が召使であれば子供達も召使の身分になり、物と共に売買されることもありました。このような召使達は国に属した公召使と、個人に属した私召使があり、主人公のジャングムは公召使でした。

しかも、朝鮮時代は男性を中心とした厳しい官僚主義社会で、女性が自分の才能を見せられる雰囲気ではなかったのにもかかわらず、賤民の身分である医女として、大勢の男性医官たちを退けて王の主治医になるのは当時、不可能でした。

このような不可能なことを飛び越えて、王から「大きい」あるいは「偉大な」を意味する「大」という号まで下賜され、「大ジャングム」と呼ばれたそうです。大ジャングムは医術だけではなく料理にも優れた才能を持っていたと言われます。

このような事実に基づいて皆さんの皆さんに愛されているんですけど、その理由は自分に与えられた環境がどんなに辛くてもそれを乗り越え、自分の夢をかなえたジャングムの意志と根気が見所ではないでしょうか。

私もそんなジャングムのように「今のままに安住せず常に最善を尽くしたい」と思います。

最後に、こんな場を設けてくださいました東金ロータリアンに心よりお礼を申し上げます。

出席率

会 員	出席者	出席率
34名	30名	88.23%
コインBOX	37,000円	

欠席連絡は、前日までに事務局宛に、電話、FAX、Eメールにて、お願い致します。
(緊急の場合は当日10時までに)
メーカップ先への事前連絡もお忘れなく
電話 0475-52-1101 FAX 0475-55-5766
E-mail: tougane-rc@2dionne.jp